

【第10報】(2024年11月27日掲載)

10月19日、日本作業療法士協会(本会)の災害対策本部は第5回災害対策本部会議を開催しました。災害対策室にて企画された「令和6年能登半島地震及び能登半島豪雨にかかる支援活動の中間総括」が災害対策室長より報告が行われました。この中間報告をもって終了するものや引き続き支援を行う企画が整理され、後日、石川県作業療法士会にも報告を共有いたしました。

また、令和6年能登半島地震につづき、9月下旬に能登半島での豪雨による土砂災害、河川氾濫等による家屋の損壊、浸水被害の災害が発生し、これにより仮設住宅に移ったにもかかわらず、床上浸水等の被害により避難所生活を余儀なくされた住民も多数報告されており、会員の中にも重複災害による被害を受けた場合の対応について審議された。重複災害についてはあくまでもひとつ一つの災害を別の災害と判断し、その都度会費免除等の支援を行うべきとの考えから、それぞれの罹災が証明できれば次年度以降の会費免除の措置を講じることで承認が得られました。

10月26日、2024年度士会-協会災害情報交換会を行いました。各士会の災害支援に携わる担当者にご参加いただき、情報交換を行いました。石川県士会からも「令和6年能登半島地震における対応の実際」についてご報告いただき、各士会でグループワークなどを行いながら情報交換をすることができました。